



ご挨拶

第8代会長 清水 裕子

『すべて多く与えられた者は、多く求められ、多く任された者は、更に多く要求される。』(ルカによる福音書 12:48 新共同訳)

2023年6月3日に広島教区幟町教会マリアホールにおいて、日本カトリック看護協会会長選挙が行われました。第8代会長として選任をいただき、その後の地下聖堂において、全国の支部長様、顧問司祭様方の見守りのうちに、会長の派遣を頂きました。身に余る大役をいただき、その頂いた職責の重さに、しばし、ためらいも感じました。冒頭のみ言葉は、幼いころより、自分の身に余る重荷を感じたときに、思い出す一節です。この時こそ、このみ言葉の意味を感じたときはありませんでした。ただ、み旨のうちになすべきことに身を投じるほかに、また支部長様方のご尽力と支える顧問司祭方も素晴らしいので、それを信じて、皆様とともに、カトリック信者の看護師に役立つ会になるよう努めてまいりたいと思います。

さて、本会は、創立66年になりますが、会員はコロナ禍の影響も受け、184名という規模で、最低限の本部機能を果たすだけの財政的余力がない状態にあります。また、これまでに会を牽引してこられた、カトリック女子修道会が関わる学校の学長や教授、先生方、カトリック病院の指導的なシスター方がこの世をさり、また、ご高齢になられて、本会の正会員として分かち合う方々は数えるほどになりました。カトリック看護師は、シスター方を模範とし、その姿に倣いながら自らのケアのあり方を研鑽してきたものです。しかし、専門学校や短期大学から看護教育の4年制化により、看護系大学が280校になり、カトリックの看護教育だけで1教育機関をなすことは困難になりました。

そのような新しい時代において、宗教の消退の時代ともいわれ、カトリック国といわれたドイツでも1年間で50万人が教会を離れているという記事が見られ、日本でもさらにその傾向は強くなっています。

しかし、嘆くことばかりでしょうか。

最近、私の所属する日本ヒューマン・ケア心理学会で、「セルフコンパッション」というテーマで学術集会が行われました。セルフコンパッションの紹介書籍では、カトリック司祭ヘンリ・ナウエンの書籍が紹介されていました。あるがままの自分をうけいれるというセルフコンパッションは、神が与えた私たち自身の存在そのものの尊重という意味に通じ、また信仰に通じるものがあります。このセルフコンパッションは、疲れた自分を見つめ、共同体の中で生かされる自分への気づきでもあります。同時に、スピリチュアルニーズへの気づきでもあります。がんや難病の患者さんのケアに当たるとき、回復の見込みがないとき、私たちは、自分の存在が揺さぶられながらも、患者さんのそばに佇むことができます。私たちは、傍にいて、Do(行動)することができなくても、Be(居る)ことで、痛みを和らげることを知っています。このとき、私たちのスピリチュアリティが生かされ、スピリチュアルケアを提供しています。困難な時、自らの存在が脅かされたときに自覚するスピリチュアルニーズを知ることにはじまり、そのニーズが患者さんにも見出した時、キリストとともにそこに佇み、苦悩する患者さんを見守りたいと思います。このようなカトリック看護師に特有のケアの方法を共有し、苦悩する方々の役に立つことができるよう、ともに研鑽を積んでいきたいと思っています。

皆様のそばに、カトリック看護に関心のある方がいれば、どうぞ、お招きください。

私たちの共同体である、この会が皆様のよりどころとなるよう祈っています。



JCNA 第 68 回全国総会が広島で開催されました

2023 年 6 月 2 日(金曜日)13:30～3 日(土曜日)9:00～12:30 に広島市のカトリック広島教区幟町教会マリアホール及び地下聖堂にて、コロナ後初めて対面で、第 7 代 JCNA 会長の山口郁乃氏の下、開催されました。2 日間とも台風の影響で、悪天候に見舞われましたが、多くの支部から支部長・顧問司祭が出席されました。

以下に出席された支部長および支部長代理、顧問司祭、また本部メンバーを紹介いたします。

- 各支部 ・東京支部—千田宏子 ・横浜支部—井坂玲子 ・名古屋支部—鈴木光恵
・京都支部—西川加之子 ・大阪支部—井上理恵子 ・広島支部—井上妙子(支部長代理)
・高松支部—清水裕子(支部長代理) ・長崎支部—大山久美子 ・大分—阿南幸子
・福岡支部—2 日 支部長 牧山幸二 3 日—濱崎喜美代(支部長代理)
※欠席支部—札幌支部・仙台支部・新潟支部・鹿児島支部
 - 顧問司祭 ・札幌支部—ケン・スレイマン神父 ・東京支部—バレンタイン・デ・スーザ神父
・名古屋支部—暮林響神父(本部顧問司祭兼務) ・広島支部—山口道晴神父
・福岡支部—寺濱亮司神父 ・長崎支部—鶴巻健二神父 ・大分支部—崔在景神父
 - 本部 ・第 7 代会長—山口郁乃 副会長—長谷川綾子 会計—石原貴子 書記—藤井智恵美
- 配布資料:第 68 回 JCNA 全国総会 総会誌および議案書が配布された。

《 一日目 》 6 月 2 日 幟町教会 マリアホールにて 13 時 30 分～17 時

開会にあたって、ナースの祈りとピアノ演奏つきの会歌斉唱の後、山口郁乃会長から開会に際しての挨拶がなされ、続いて本部顧問司祭の暮林神父様の会開催に対する感謝が述べられ、開会された。

次に、帰天された会員およびすべての死者のための黙祷を行い、その後出席された各支部長と各支部顧問司祭の自己紹介が、久々の対面での喜びの中、和やかに行われた。今回の総会で、来賓として広島教区長白浜司教様を招聘したが、台風の影響で、東京出張から戻れず欠席となり残念であった。

休憩後、議案書に基づいた総会が議長を本部副会長の長谷川氏、書記を高松支部の清水氏が指名され、そのもとで行われた。総会についての詳細は「総会議事録」にゆだねる。

1 日目の最後は、昨年アメリカで開催された CICIAMS 国際総会で、国際総会顧問司祭に任命された札幌支部顧問司祭のケン・スレイマン神父(天使大学講師)による 2023 年 2 月にヴァチカンで行われた CICIAMS の理事会の様子が報告された。内容は 2 名の看護師の列聖への動きがあること、一人は患者への愛で有名なポーランドのハナ・チャノフスカ氏、2 人目はアウシュビッツでの出産に立ち会った助産師ポーランドのスタニスラワ・レシリス氏である。また CICIAMS の具体的な活動としてはいろいろな健康問題へと看護師のジレンマについて、また生命倫理についての見解、カトリックナースとしての役割教会との関係などがあることが報告された。今後日本においても、CICIAMS の意向を受け、より具体的に行動に表していく活動に発展していくことが重要であると考えた。

《 二日目 》 6 月 3 日 幟町教会 マリアホールにて 9 時～10 時

昨日同様、議長を本部副会長 長谷川氏、書記を高松支部の清水氏により総会を再開した。10 時にて総会は終了し、議長・書記は降壇した。

休憩後、今年度は、会長の任期満了による改選年にあたることから会長選挙が実施された。

◆会長選挙 10 時～10 時 50 分

選挙管理委員となった広島支部の赤窄千香子氏、福岡支部の杉本澄子氏が紹介され、会長選挙は進められた。

会長候補となった高松支部清水裕子氏を、第 7 代会長山口氏、長崎支部大山氏による推薦文が読まれ、その後選挙となり、当事者支部を除く全支部からの投票を得て、清水裕子氏が第 8 代 JCNA 会長に推挙され、清水氏に就任要請が行われ、清水氏が受諾され、第 8 代 JCNA 会長が決定した。

◆新会長挨拶・新本部役員選任・第 7 代会長および退任する本部役員挨拶

○第 8 代新会長 清水裕子氏より挨拶。

現職(国立大学法人香川大学教授)に着任してから、JCNA からは遠ざかっており、この度、現職を今年度で定年退職をすることから、14 年ぶりに JCNA に参加した。間もなく、会長に選任を受け、長いブランクのため、躊躇もあったが、再度、微力を尽くしたいと考えている。今後の活動については、①カトリック看護職の構成概念の構築について ②会

員獲得のための活動 ③各支部の高齢化問題を含めた情報・管理の整理 ④本部支部とのコミュニケーションなどの抱負を述べられた。

新体制についての構想は、後に記載する。

○退任者挨拶

・7代 JCNA 会長山口郁乃氏は、6年前の会長立候補から会長職を引き受け、会の存続を第一に考えていたが、コロナ禍で大会等が2回流れ、総会だけでも今回対面で行えたこと、感慨深い。多くの方々の協力と恵みで、次の会長に手渡すことができる。感謝である。

・副会長長谷川綾子氏は、会長とは看護短大での同期であり、とにかく会長を支える役割としてこの6年間を過ごしてきた。個人的には生命尊重の会の関りが多く、その面でもサポートや会の意向等伝える機会となったと考えている。

次の世代へつなげていく、無事に役割を終えることができ感謝である。

・会計石原貴子氏は、8年という歳月を、お金のことには乏しい知識ではあったと述べつつも何とかやってこれたこと。現在会計を担ってくださる方が未だいない状況ではありますが、新体制となったので、一区切りとしてホッとする状況ではある。

※第7代会長世代から第8代へ、社会の情勢から医療・看護を取り巻く環境も複雑になっていく状況の中、カトリックナースとして、患者中心の看護が問われることとなるのでしよう。

◆派遣ミサ JCNA の新しいスタートを祝福して 地下聖堂 11時40分～12時30分

司式・・・本部顧問司祭暮林神父様他3名

新役員委任式・・・新会長 清水裕子氏

閉祭のお知らせの際、暮林響神父より、次回 全国大会の候補地、候補支部はあるか、小規模支部でも近隣の支部同士が協力し合って大会開催できないか、問いかけがあった。それぞれ前向きに検討することとし、散会した。

(第68回 JCNA 全国総会の要旨を参照していただくとより具体的な内容がわかります。)

2023年度臨時全国総会がオンラインにて8月29日に開催されます

第8代 JCNA 会長 清水裕子氏の下、日本カトリック看護協会規約第26条に基づく「臨時総会」を行います。

議案は、1. 新会長活動方針

2. 2023年度 修正事業計画案

3. 2023年度 修正予算案

4. 規約の改正

5. 本部役員選任 等となっております。

※ 臨時総会の議案内容等、後日皆様にお知らせいたします。

ここで改めまして全国支部、支部長をお引き受けくださっています支部長・顧問司祭をご紹介します。(敬称略)

支部名	支部長名	新任・継続	顧問司祭	新任・継続
札幌	佐藤 昇子	継続	ケン・スレイマン	継続
仙台	古関 睦	継続	佐々木 博	継続
東京	千田 宏子	継続	バレンタイン・デ・スーザ	継続
横浜	井坂 玲子	継続	鶴飼 好一	継続
新潟	代理 小池 マヤ子	代理	真壁 良雄	継続
名古屋	鈴木 光恵	継続	暮林 響	継続
京都	西川 加之子	継続	福岡 一穂	継続
大阪	井上 理恵子	継続	大久保 武	新任
高松	河上 真理	新任	イスマエル・ゴンザレス	継続
広島	阿川 昌子	継続	山口 道晴	継続
福岡	牧山 幸二	継続	寺濱 亮司	継続
長崎	大山 久美子 Sr	継続	鶴巻 健二	新任
大分	阿南 幸子	継続	崔 在景	継続
鹿児島	澤 ヤエ子 Sr	継続	小隈 憲士	継続

★2023 年度 JCNA 本部体制は

本部顧問司祭 暮林響神父(名古屋支部)

第 8 代会長 清水裕子(高松支部)

副会長 : Sr. 石岡ヒロ子(長崎支部):第 68 回総会で承認済み

広報(CICIAMS 併任): 織井優貴子(横浜支部):第 68 回総会で承認済み

財務(会計) : 石原貴子(東京支部) 会計残任期間 1 年

書記 : 藤井智恵美(東京支部) 残任期間 1 年

※ 会長委嘱の役員(臨時総会で報告予定) 経理担当 堀田光子(福岡支部)

※ WEB 担当 巻島 愛(札幌支部)

2024 年度第 62 回全国大会開催が決定

主催支部 札幌支部

支部長 佐藤昇子様 顧問司祭 ケン・スレイマン師

開催日時 2024 年 8 月 24 日(土)~25 日(日)

開催地 札幌市 北 11 条カトリック教会 および 天使大学

※詳細は札幌支部ホームページでお知らせします。

来年です!このスケジュールを先に埋めてください。

リモートで行う早春黙想会を今年も開催しました。(2022 年度本部主催)

コロナ禍で集まることもできず、何かできないかと本部が考えたのが、リモートの夜黙想会の企画でした。そして実現したのが、2021 年 2 月 11 日、第 28 回世界病者の日に早春黙想会リモート開催です。

指導司祭の本部顧問司祭の暮林響神父の「黙想会は、神様が直接働いてくださる恵の場」、自由な気持ちで参加しようという黙想会の手引きに沿って始まりました。

昨年の早春黙想会も 2022 年 2 月 11 日に、広島支部の顧問司祭の山口道晴神父により開催、今年も 3 回目です。当初、指導は大阪支部顧問司祭の藤原昭神父の予定でしたが、藤原神父様が体調を崩され、急遽本部顧問司祭の暮林神父様が担当されました。今年、2023 年の「世界病者の日」の教皇メッセージは、【「この人を介抱してください」。シドノスの精神にかなう、いやしの実践としての憐みの心】。

メッセージを読み解きながら、ZOOM ならではのブレイクアウトルームを大阪支部長井上氏が作成し、参加者は web 上でグループに分かれ、分かち合いを行いました。画面上とはいえお顔を見られながら話しあえたのは、響き合うものがあり、暖かい時間が流れたと実感しました。参加者は 42 名でした。

支部からの連絡

- 名古屋支部では 2023 年 7 月 1 日に松浦司教との集い「生活の中のみことば」がハイブリッドで開催され、会場に 22 名、オンラインで 13 名が参加されました。
- 高松支部から支部長交代の連絡があり、8 月 1 日付で藤田英美緒氏から河上真理氏に交代しました。藤田様、1995 年の全国大会を開催して下さり、ありがとうございました。
- 大阪支部から連絡です。大阪と姫路の 2 地区のグループが統合され、9 月 1 日付で大阪支部となります。支部情報については、ホームページの改訂が既に行われております。

発行日 2023 年 8 月 1 日 (火曜日)
発行責任者 清水 裕子
編集 日本カトリック看護協会本部
創刊年 1957 (昭和 32) 年

編集後記

猛暑の日々が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。
JCNA 本部も新体制になりました。今後とも一緒に今後の道に神様のお恵みを力に変えて歩んでまいりましょう。本部書記 藤井智恵美